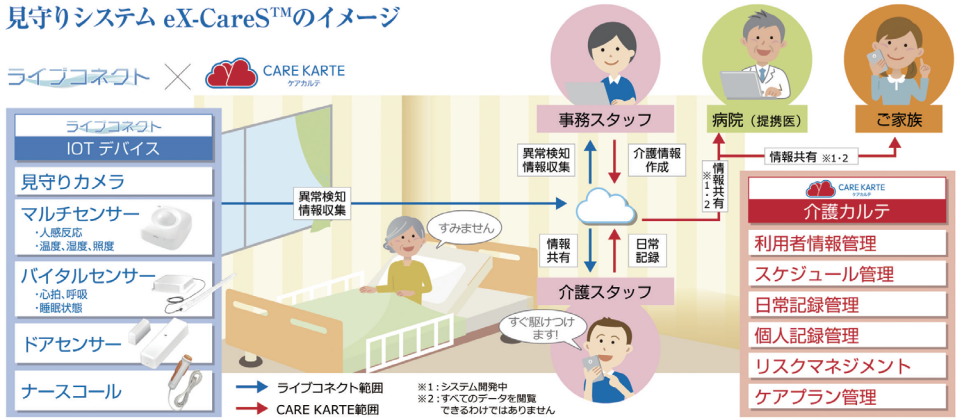
利用者や介護スタッフの目線で介護の質向上のための機器を提供



株式会社 エクセレントケアサポート

075-744-6512
excare-s@excare-s.co.jp
京都府京都市下京区河原町通松原上る清水町280-1
https://excare-s.co.jp/

代表
大川寛正 さん

幼少より人の役に立ちたいと感じ、大学院修了後、医療機器メーカーに入社。企画、研究、開発、生産構築、営業を経験する。その後、介護の現場に触れ、『株式会社エクセレントケアシステム』に入社、『株式会社エクセレントケアサポート』を設立。

ICTを活用した次世代型の介護機器でQOLをアップ

ICT（情報通信技術）を通じて介護の未来へ挑戦する『株式会社エクセレントケアサポート』は、「エクセレントケアシステム」グループの一員として全国七都府県の介護事業所の運営実績を活かし、介護施設等の利用者QOL向上や介護に携わるスタッフの負担軽減を図る介護製品・介護ロボットなどの機器の開発、販売により、介護の質向上を追求している。注目は、次世代型介護ソリューション『eX-CareS™（エクスケアス）』。バイタルセンサーやドアセンサーなどの各種のIoTデバイスで利用者の情報を管理する「ライブコネクト」と、利用状況やスケジュール等の情報管理から介護報酬請求などをトータルにサポートする「CARE CARTE（ケアカルテ）」を連動させた見守りシステムだ。利用者の活動状況や呼吸・心拍数、室温など様々な事象をリアルタイムに検知でき、転倒や脱水などといった重大事故の予防が可能だ。また、タブレットやスマートフォンで情報が確認でき、介護スタッフの精神的負担も軽減。現場でのスタッフ間の申し送りも容易になる。業務の効率化によりできた時間を利用者との対話などにあてられ、介護の質を高められるのもメリットだ。しかも、安価なセンサーの組み合わせで実現でき、導入コストを抑えることができる点も見逃せない。

さらに、利用者が万が一、転倒した際に、骨折のリスクを減らすことができる床「ころやわ」も取り扱っている。歩行時は硬く転びにくく、転倒時には床面がへこみ、高い衝撃吸収性を発揮する。転倒時はフローリングに比べ、約半分の衝撃を抑えることができ、利用者の安全を守る。加え、歩行時や車いす使用時の安定性もある。また、介護スタッフのための動作支援用アシストスーツ『マッスルスーEvery』を展開。介助などでの重労働をサポートし、腰の負担を軽減する。

同社の介護製品・介護ロボットは、デモ体験も可能。実際に使い心地を納得いくまで確かめてから導入できるので安心だ。介護人材不足が不安視される今。利用者と介護スタッフの双方に安心と利便性をもたらす同社の活躍がますます期待されている。

（ライター／ナガノリョウ）

『ex-CareS』と『ころやわ』が設置された部屋。

『マッスルスーツ Every』

『ころやわ』
設置タイプ